

【JETSETTER Vol.02】

ANA×EDIFICE のコラボスーツで香港・マカオへ！

ビジネスマンのスタイリッシュな週末出張

2018.03.29 ANA オリジナル

<https://www.ana.co.jp/travelandlife/feature/original/vol179/>



Text by

Kenichi Marumo (minimal)

Photo by

Masaru Tezuka

ANA Travel & Life と人気ファッションブランド EDIFICE のコラボ企画「JETSETTER PROJECT」。「ビジネスマンの旅とファッション」をテーマにした連載の第2弾では、3月に発売開始したANAとEDIFICEのコラボスーツを着て1泊2日で香港・マカオへ行ってきました。

旅程はANAの深夜便を利用して香港出張1日+マカオへも行くプライベート1日の48時間をフルに活用できる週末旅をANA Travel & Life編集部が企画。EDIFICEのPRESS担当、高津戸さんが旅中のシーンに合わせてコラボスーツをアレンジした4種類のコーディネートを考えてくれました。旅をオシャレに楽しむためのプロのアレンジも是非参考にしてください。

今回利用したのは ANA の下記のフライトです。

木曜/0:55 羽田空港発(ANA821 便)→4:30 香港国際空港着

土曜/1:05 香港国際空港発(ANA822 便)→6:10 羽田空港着

(2018 年 3 月 25 日時点の運航スケジュール)

ANA の羽田～香港線は、週 14 往復に増便され、さらに便利になっています。

それでは、香港とマカオの魅力をギッシリ詰め込んだ 1 泊 2 日の旅をレポートします！

【DAY1. 5:00am】香港国際空港に到着

今回の週末香港出張は、羽田空港 0:55 発の ANA821 便で出発。通常通り出勤し、夕方まで働いてから羽田空港発の深夜便で海外へ…というのは、今やビジネス出張の定番パターン。朝現地に着いたらそのまま商談という流れも想定して、羽田から約 4 時間の機内でできるだけリラックスできるようにコラボスーツをベースに靴をスニーカーに履き替え、インナーはシャツではなくリラックスできるカットソーに着替えて出発しました。そのおかげで機内での 4 時間でぐっすり休めたので、あっという間に香港に着きました。



朝 5:00 に香港国際空港に到着したら、そのままタクシーで宿泊先である香港では珍しいデザインブティックホテル『TUVE』へ。

【DAY1. 7:00am】ホテルにチェックイン

空港から 30 分ほどで『TUVE』に着くとそのスタイリッシュなエントランスに期待が高まります。ホテルのチェックインは午後ですが、運良く部屋が空いていたので部屋に入り着替えもできました！ 宿泊先のホテル

『TUVE』は、香港でも話題のスタイリッシュなブティックホテル。コンクリート打ちっぱなしのフロアと壁が印象的な室内は、香港の街の鼓動と心地よくシンクロしています。ロケーションも良くビジネスセントラルや九龍島への移動も便利です。

【DAY1. 8:00am】ホテル近くのローカル食堂で朝食へ

少しお腹が空いたので何か軽く食べたいと思いホテル近くを散策すると面白そうなローカル食堂を発見。「冰室」と看板に書かれたこのお店は、「茶餐廳（チャーチャンテン）」と呼ばれる香港式のファミレス。独特の世界観にハマる旅行好きも多いようです。

ラーメンがインスタント麺でつくってあったり、紅茶とコーヒーが混ざった飲み物が出てきたり……メニューはかなりB級。グルメ都市・香港でなぜこんな食堂が支持されているのか不思議ですが、一度くらいは食べてみる価値あり。茶餐廳は、九龍島サイド、香港島サイドともにたくさんあるので、是非立ち寄ってみましょう。

【DAY1. 9:00am】ビジネススタイリングでセントラルへ



茶餐廳で朝食をすませ、一度ホテルに戻りビジネススタイルに着替えて、香港ビジネスの中心であるセントラル（中環）エリアへタクシーで移動。ビジネスセントラルでランチをはさみながら現地のスタッフと打ち合わせです。



【DAY1. 1:00pm】ゴージャス点心のビジネスランチ

ビジネスランチのスポットとして選んだのは、セントラル地区のど真ん中に位置する『MOT32』。上質な点心を提供してくれる人気店で、バンクーバーやバンコクにも支店があります。スタンダード・チャータード銀行の地下というロケーションもあり、セレブな雰囲気。個室もあるので、打ち合わせを兼ねた会食にも最適です。

下の写真は『MOT32』で食べた点心メニュー。1品 70~100 香港ドル（約 1,000~1,500 円）程度。左手前がシュウマイのトリュフのせ 2個 70 香港ドル（約 1,000 円）です。

メニューは、伝統的な広東料理がメイン。点心のほか、肉料理、海鮮料理、麺料理なども提供していますが、器や料理のアレンジはかなりモダンでオシャレです。写真手前のトリュフのあったシュウマイは絶品！ここを訪れたらマストでオーダーしたいところです。

その他にも、肉汁たっぷりのオレンジ色の小籠包はスパイシーな味付けが珍しく印象に残りました。

仕事終わりのオフタイムは香港の超有名スポット「スニーカーストリート」へ！

[Feature 一覧に戻る](#)

【DAY1. 3:00pm】街散策スタイルで九龍島エリアへ

仕事が終わって、一度ホテルに戻りひと休みしたら、ここからはオフタイム。オフモードのラフなスタイリングに着替えて、九龍島エリアの佐敦（ジョーダン）、油麻地（ヤウマテイ）、旺角（モンコック）エリアに向かいました。今回、移動手段に Uber を使ってみたら大正解！アプリで呼び出すと 10 分程度で車が到着してくれて、タクシーよりも格安。乗った車はどれもピカピカで、テスラを使用しているドライバーもいました。香港の移動は地下鉄が便利ですが、路線からちょっと外れた場所などに行くときは、Uber がかなり役立ちそうです。



Uber の車に乗ってたどり着いたのは、「男人街」「女人街」と呼ばれる露天が並ぶストリートがあるエリア。九龍の中心をまっすぐ突っ切って走る大きな通り『彌敦道（ネイザンロード）』を挟んで、東西に2大ナイトマーケットがある有名スポットです。「男人街」では「男性向けのアイテム」、「女人街」は女性向けのアイテムを扱う露店が多いからそう呼ばれているそうです。



香港らしい街並みを見たかったので「女人街」にあるスニーカーストリートとも呼ばれるエリアへ向かいました。ここは香港らしいネオン看板が集まるインスタ映えスポットとしても超有名なスポット。スニーカーストリートと言うだけあってスニーカーショップだらけです。幾つかのお店を覗いて見ましたが、ナイキやアディダスなどの定番スニーカーが日本より安く買えるので、ここで新しいスニーカーをゲットして、香港の街を探索するのも良いかもしれません。

【DAY1. 6:00pm】百万ドルの夜景ディナーを堪能

香港といえば、やはり「百万ドルの夜景」を堪能したいところ。そこで、ディナーに選んだのは、尖沙咀にある『Aqua』。29・30階の2フロアが吹き抜けになっている大きな窓から香港島の夜景を満喫しながら、贅沢な時間を過ごすことができます。取引先との接待にもピッタリ。もちろん、パートナーと一緒に訪れるのにも最高です。



『Aqua』は、同じ店舗内で違うメニューを提供していて、創作イタリアンの『Aqua Rome』と創作和食の『Aqua Tokyo』の料理が楽しめます。今回は、せっかく海外に来たので『Aqua Rome』のメニューをいた



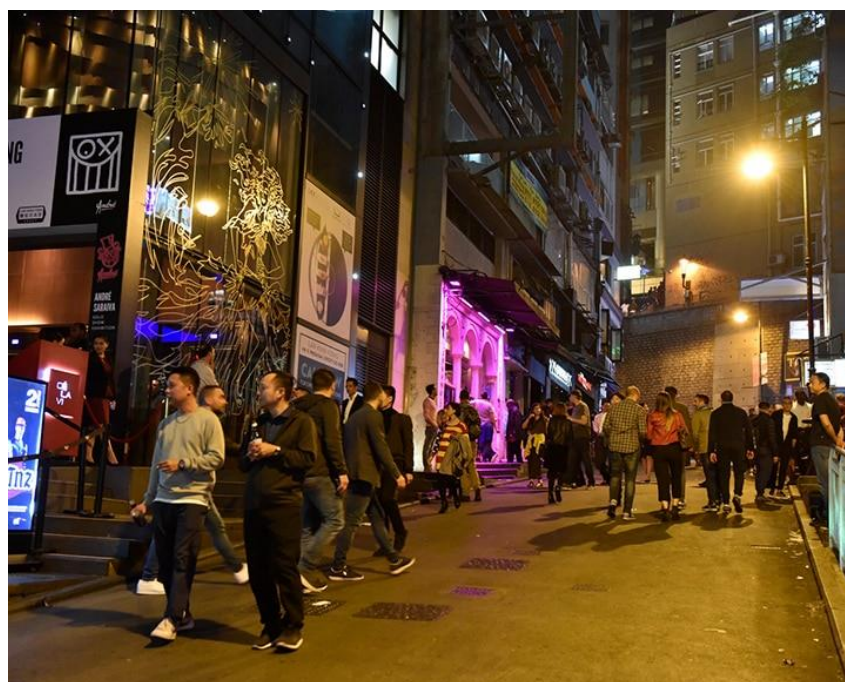
だきました。



『Aqua』は、ランチタイムも営業。夜景だけでなく、昼の眺望も抜群です。気分次第で、『Aqua Tokyo』のお寿司や刺身のメニューを試してみるのもいいでしょう。

【DAY1. 9:00pm】ランカيفونでバークルーズ

百万ドルの夜景ディナーを終え、ホテルのある香港島側へ。次なる目的地は、外国人向けのバーが集まるランカيفون。ウォン・カーワイ監督の『恋する惑星』のロケ地としても知られるこのエリアは、ストリートまでクラブミュージックがガンガン聞こえてくる言わば香港の"六本木"。金曜の夜ということで、おしゃれをした若者たちで賑わっていました。



オープンカフェスタイルのイタリアンレストランに入って、地元香港のクラフトビールを頼んでみると大正解！ 通りを歩く人々を見ているだけでも飽きません。その後、ゆったり座れるバーを探して、2 軒くらいハシゴしました。



【DAY2. 9:00am】トラムに乗ってローカル朝食のお店へ
金曜で仕事を終え、土曜は自分へのご褒美の1日。土曜深夜の帰国便に乗るまで、香港・マカオをフルで楽しむスケジュールを立ててみました。まずは、ホテルに荷物を置いたまま、ふらりとローカル朝食のお店へ。香港名物の路面電車トラムに乗って出かけてみました。2階建てのトラムとレトロな街並みが一体化しています。



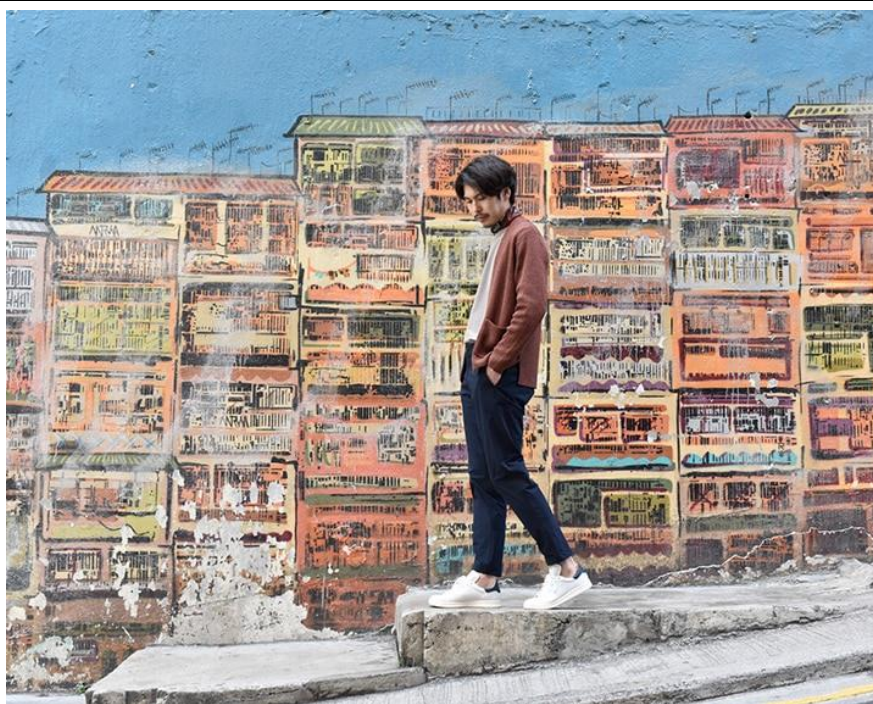
そこは、英語がまったく通じない純ローカルな世界。ワゴンで運ばれてくる点心を指さしてオーダーするようです。円卓は、地元客との相席が基本。見よう見まねでなんとか数品をオーダーできました。円卓に並んだのは、肉まんや鶏肉の煮込み、豚挽肉の団子など。1品 150 円程度で、どれもビジュアルはなかなかワイルド。ゴマ団子などのスイーツもあります。1 日目に行った『MOT32』とは別物ですが、地元らしい味わいを堪能できました。



お店があるのは、ビジネスの中心であるセントラル地区。高層ビル街のすぐ隣に、まだこんなローカルな空間が残っているのが香港の面白いところです。

【DAY2. 10:00am】オールド・タウン・セントラルを散策

朝食を終え、そのまま徒歩でカフェやショップが並ぶオールド・タウン・セントラルを散策。映画やドラマのロケ地としてたびたび登場する「ヒルサイド・エスカレーター」を使って、MTR「セントラル」駅からハリウッドロード周辺へ。インスタ映えスポットとして有名な壁画ポイントにも足を伸ばしてみました。



2 日目の午後は、マカオに足を延ばします。

【DAY2. 12:00pm】フェリーで香港からマカオへ

オールド・タウン・セントラルから一度ホテルに戻り、午後はマカオトリップへ。香港からマカオへは、上環エリアのフェリーターミナルから約 1 時間。簡単な出入国の手続きもあり、「国境越え」の醍醐味も味わえます。



香港とマカオをつなぐフェリー「TURBO JET」は、ほぼ朝 7 時から夜 12 時まで、約 15 分おきに運航。それ以外にも深夜や早朝にいくつか便があります。料金は、片道 160～210 香港ドル（約 2,200～3,000 円）程度。週末や時間帯によって料金変動します。

フェリーのチケットは、日本語サイトで簡単に事前予約が可能。当日は、E チケットをプリントアウトしてフェリーターミナルのチケットカウンターに持っていくとスムーズです。簡単な出国手続きがあるので、出航の 30 分前にはフェリーターミナルに到着するようにしておきましょう。パスポートが必要となるので、忘れないように。

【DAY2. 1:30pm】マカオの世界遺産セナド広場へ

マカオのフェリーターミナルに到着したら、入国手続きを終え、タクシーで世界遺産のセナド広場へ。ポルトガル統治時代の雰囲気色が濃く残る街並みは、香港とは別世界。半日でも訪れる価値があります。



セナド広場からエリアのランドマークでもある聖ドミニコ教会へ。イエローとグリーンの壁がエスニックな異世界に誘ってくれます。



【DAY2. 3:00pm】フォトジェニックなタイパ・ビレッジへ
セナド広場周辺からさらに足を延ばして、リゾートホテルが数多くあるタイパ島へ。タイパ・ビレッジ（官
也街）と呼ばれるエリアには、おしゃれなカフェやお土産店がいっぱい。路地裏に入るとノスタルジックな
世界も広がっていて、インスタ映え必至です。



通りを歩いているとマカオ名物のエッグタルトの専門店を発見。迷わず購入して、歩きながら
パクリ。たまたま立ち寄った『Lord Stow's Bakery』は、マカオでも有名なお店らしく、サク
サクのパイ生地とカスタードクリームのハーモニーが絶妙な逸品でした。



マカオで大人気のエッグタルト専門店『Lord Stow's Bakery』



マカ

オ名物のエッグタルトを発見！ 1個9 マカオ・パタカ（約 120 円）

【DAY2. 5:00pm】仕上げにマカオ名物のカジノに挑戦！

マカオに来たらやはりチャレンジしてみたいのがカジノ。300 円程度からベットできる場所も多いので、観光客でも気軽に楽しめます。訪れたのは、老舗の『ホテル・リスボア』。マカオを代表するカジノホテルで、著書『深夜特急』で沢木耕太郎さんが、一文なしになりかけたカジノとしても知られています。



【DAY2. 6:00pm】人気レストランでポルトガル料理を堪能！



マカ

オ風ポルトガル料理の代名詞的レストラン『ESCADA』

つかの間のマカオ旅の仕上げは、セナド広場近くの大人気レストラン『ESCADA』へ。マカオでポルトガル料理を食べるならここへ行けば間違いなし！と言われるお店らしく、夕方6時に入店するとすぐに満席状態になりました。

海鮮系のメニューを中心に、定番のポルトガル料理がズラリ。ポルトガル産のビールやワインに合わせてゆったりと楽しめます。特に、ワタリガニの出汁がじんわりと口に広がるカニのリゾットが絶品！ 約7,000円と値段は張りますが、4人くらいでシェアできるくらいボリュームがあるので、『ESCADA』を訪れたらマストでオーダーすべきでしょう！



ポルトガル風カニのリゾッ



ト 498 マカオ・パタカ (約 7,000 円)

フリカンチキン 188 マカオ・パタカ (約 2,600 円)。

これもマカオ風ポルトガル料理の定番です



【DAY2. 8:00pm】マカオから香港国際空港へ



帰国便は、香港国際空港を深夜 1:50 に発つ ANA822 便。マカオを夜 8:00 に出発すれば、十分間に合います。フェリーから眺めるカジノのネオンもなかなかムードがあります。海外出張をするなら、週末に合わせてプラス 1 日という香港・マカオ旅、いかがでしたか？ 同じようなスケジュール感で台北やソウルへの出張も計画できるでしょう。チャンスがあれば、出張コーディネートも含め、ぜひトライしてみてください！

EEDIFICE と ANA が、世界を飛び回るジェットセッターのためのセットアップスーツを共同開発。今回の香港・マカオ旅で着用していたスーツがこちら。素材には、帝人フロンティア（株）が開発したストレッチ性のある繊維「Solotex」を使用。身体の動きにあわせて伸縮し、機内でもストレスフリーな着心地を実現しています。詳しくは、こちらをチェックしてみてください！